

都中P通信

No. 18

発行 平成24年2月 東京都公立中学校PTA協議会 会長 水上 幸夫

第3回中学生

「東京駅伝」大会

区市町村代表の中学2年生が
襪をつなぎます！

日時：3月20日（火・祝日）
開会式 午前9時30分
場所：味の素スタジアム
主催：東京都教育委員会

東京都教育委員会は、中学校で行われている授業、部活動、校内マラソン大会等や区市町村単位で行われている陸上競技大会等をはじめとした様々な取り組みの現状を踏まえ、より多くの中学生が学校や部活動の垣根を越えて高い目標に向けて切磋琢磨し、中学校期における健康増進・持久力等の体力向上、公正・協力等の態度の育成、努力・忍耐力等の精神力の向上に資するため、区市町村対抗の第3回中学生「東京駅伝」大会を開催します。

* 第3回中学生「東京駅伝」大会の
ホームページ

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2011/12/201cm600.htm>

社団法人 日本 PTA 全国協議会

*** 第22回 東京ブロック PTA 研究大会 ***

日時：平成24年2月11日（土）
場所：東京大学 赤門総合棟2階 A200教室
テーマ：どうして勉強しなきゃいけないの？
～生きることと学ぶこと～
講演：学ぶ意欲の心理学
～やる気はどこから来るのか～
講師：東京大学教授 市川 伸一 氏



人はなんで勉強しなければいけないんだろう？必須科目で学んでいることは何で必要なんだろう？子ども達は誰もが感じることでないでしょうか。親としては子どものやる気を出させるためにはどのようにしてあげたら良いのだろうと悩むことも多いのではないのでしょうか。市川教授は一つの答えがあるわけではないがいろいろな動機づけの中で答えのきっかけにして欲しいとおっしゃっていました。講演の中で印象に残ったことは学習動機の入口として内発的（充実志向…学習自体が楽しい・訓練志向…知力を鍛えるため・実用志向…仕事や生活に生かす）、外発的（関係志向…他者につられて・自尊志向…プライドや競争心から・報酬志向…報酬を得る手段として）の動機についてです。どの傾向が我が子にはあるのか？と考えてみると外発的動機が多いように感じられるのではないのでしょうか。また子ども達が学ぶことによって自己が広がって何かになっていく「なりたい自己」「なれる自己」のイメージや可能性が拡大する。今すぐ何に役立つかわからないが、後から役立つ可能性があり意味のないことをやっているわけではないなど学びの大切さを感じました。子ども達に勉強の仕方を身につけさせる自己教育力（自分を自分で育てる）、人間力（どうやって生きていくのか？）のお話はやはり学校だけではなく地域、家庭との連携を取り体験、学びを通していろいろな角度から子ども達の心の成長に関わることの大切さを感じる講演会となりました。

*** 中親会・都中P合同研修会 ***

《文の京の子どもたち～健やかな成長を願って～》

講師：文京区長 成澤 廣修 氏

2月6日（月）文京区シビックセンター26階 シビックホールにて

文京区の各校PTA役員さんにもたくさん参加される中、成澤区長の講演を拝聴しました。文京区では、子育て支援は親への支援でもあり、子どもを望むすべての家庭への支援であると捉え、不妊治療の費用助成から始まり、父親の1日保育士体験、気軽に使える一時保育の充実などきめ細かい施策が行われています。その結果、出生率も上がり、2人目3人目が増えているそうです。学校教育についても、地域の特性を生かしてたくさんある大学との連携を進め、震災後は区立幼・小・中校へヘルメットの配備や学校安全アドバイザーの派遣などに取り組まれています。治安や住環境も含め「安心して子育てができる環境を」という区長の強い思いが、行政の中でトータルで行われている感じを受けました。

成澤さんは2年前に全国の首長として初めて「育休」を取られたことでも有名ですが、その理由が「子どもへの愛情！母親のサポート！」。結果として、男性育休の後押しができたかなーと話されました。お父さん達、いかがですか？

新年会が150カ所とか…どうぞご自愛の上、文京区のみならず、全都に子育て世代の首長の考え方・取り組みを発信していただきたいと思いました。

① 平成23年度 教員加配の効果検証に関わる

調査・分析のための検討委員会（第3回）

日時：2月14日（火）

学力向上施策の一環として小一問題・中一ギャップの予防・解決のために加配された教員の活用状況及び生徒の適応状況を把握するために実施された調査報告を受け、調査結果の分析をしました。中学校に関しては、学級規模縮小またはTT（チームティーチング）など活用方法は学校により様々であり、どちらの活用方法が効果的かは現状では判断し難いが、加配校では学習面や生活態度も向上しているようです。

② 東京都学力向上施策検討委員会（第3回）

日時：2月16日（木）

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の調査結果の報告がありました。生徒の個人票はもとより、教員への指導支援も行われます。授業に向う姿勢（授業開始の挨拶など）をしっかりとっていくなど、当たり前のことを当たり前にやっていくことの重要性や理数教育の充実など幅広い意見交換がありました。

両検討委員会とも本年度は、今回（第3回）をもって終了となりますが、次年度も同検討委員会を行う予定です。

都中Pとしては、教員のさらなる加配・増員を求めています。

《東京万引き防止官民合同会議》《子どもに万引きをさせない連絡協議会》

「万引きは非行の入り口」「万引きは犯罪」とほとんどの皆さんが理解していると思います。でも現実には「うちの子に限って…」と思っていませんか？都中Pは上記の2つの団体に参加し、警視庁、東京都青少年・治安対策本部、東京都教育庁、全国万引犯罪防止機構など多くの団体と力を合わせて、子ども達の万引き防止の活動をしています。

万引きは21年11月に「全件届け出」が開始され、上記の団体の活発な活動の成果もあり、増える一方だった少年の万引きの認知件数が、23年度は12%も減少しました。ですが10年前と比べるとまだ2倍の数があります。活動としては、届け出時間の短縮化、万引追放キャンペーンやシンポジウムの開催、万引き防止のための防犯責任者講座の開催、モデル店舗の認定、ステッカー・チラシ・ポスターの配布などがあります。中学生に対しては店舗のご協力を得て、職場体験を利用して、万引きの実態やその被害を知る取り組みも始まりました。

今、24時間営業のコンビニや店舗が増え、子ども達は塾や習い事で夜遅くに繁華街やターミナルを歩くことが普通になっています。携帯を持たせているから、と安心しないでください。様々なストレスにさらされ、保護者とのコミュニケーションも不足気味な現代の子ども達の誰にでも、ちょっとした気持ちの隙に、万引きに手を出すきっかけが潜んでいます。これに気がつき、未然に防げるのは保護者です。子どもの様子を把握することはもちろん大事ですが、万引きは「全件届け出」であり、初めてだから…お金を払うから…という言い訳は通用しない「犯罪」であると、まわりの大人自身がしっかり認識し、規範意識を持つことが、万引きに手を出させないための最大の抑止力です。警視庁・東京都のHPを見たり、学校のセーフティ教室に参加してみてください。お店に貼ってあるポスターを見たときに子どもと万引きの話をするだけでもいいでしょう。私達は、今後もPTAの立場から二つの会議を通じ、発信をしていきたいと思っていますが、万引きを繰り返すような子ども達を作らないためにも、社会全体で万引き防止に努めなければならないと思います。各単Pやご家庭でもどうぞご協力ください。



参考 ・警視庁HP>安全な暮らし>万引き防止対策

・東京都HP>「万引き」で検索>子どもに万引きをさせない連絡協議会

*** 東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会 ***

日時:平成24年1月28日(土) 14時~16時30分

場所:みらい座いけぶくろ(豊島公会堂)

テーマ:「助け合いの心が子供を育てる」 ~子供の自立を促す大人の役割とは~



幼稚園から高校までの各校種からのパネラーと会場交えたディスカッションということで、始まりました。都中Pのパネラーは、櫻田副会長です。幼稚園のパネラーは単P会長さんで、ご自分のお子さんの様子から、家でのお手伝いすることが助け合いの心の第一歩ではないかというお話。小学校のパネラーの校長先生からは、地域への行事などへの参加によって大人と関わり、助けあってそれをやり遂げていくことを学んでいるとお話。中学生はボランティア部で積極的に活動している子ども達もたくさんいること。高校のパネラーの校長先生からは、多くの地域から生徒が登校してくるので、授業のなかでは地域への貢献や地域との関わりを持つようにしているとのことでした。その後の意見交換の中では、自ら考える時間が少なくなったという意見。私立受験に目が行き過ぎてはいないだろうか、自己中心的になりやすい環境ではないか、という発言も。大人の心の余裕がなくなった、置き忘れた何か大切なものがあるのでは…という発言もありました。「自立」とはということに話が及ぶと、自分で考えて行動する、他人に迷惑をかけない(自分が嫌なことは他人にしない)、自分を認識できて社会と関わることが自立、自らを律することができる(自律)ことが自立であるというような多くの意見が出て、協議が盛り上がりしました。

幼小中高でこのような話し合いができることは、子どもを育てていく上で、横だけではなく、異学年交流をとおして縦の繋がりができるということ、また教育の連続性を考えることができるということで大変有意義なことだと思います。

<都中P・中親会合同賀詞交歓会>

日時:1月25日(水) 18時30~ 場所:ホテルローズガーデン新宿「ローズルーム」

恒例の都中P・中親会(都中P OB会)合同賀詞交歓会が、東京都中学校長会会長 三町章様を来賓にお迎えして行われました。中親会の村田紀子会長挨拶、都中Pの水上幸夫会長挨拶、来賓挨拶と続き、乾杯の後に歓談へと進みました。当日は、台東区と足立区がP連の新年会のために欠席。中にはインフルエンザに感染で急遽の欠席、前日降った雪かきの後遺症による急遽の欠席、と参加できない方もいらっしゃいましたが、それぞれのテーブルでの先輩方のお話、途中のくじ引きもあり、盛会となりました。

< 理事会・PTAアカデミー >

次回の予定は以下のとおりです。
詳細は別途お知らせします。

◆3月21日(水) 杉並区

中学1年生の保護者の方へ忘れていませんか?

(平成10年4月2日~平成11年4月1日生まれ)
第3期麻疹・風疹予防接種を受けましょう
平成24年3月31日(土)まで(東京都麻しん対策会議)

セイフティプラン24 【中途加入できます】

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。E-mail: jpta@Tokyo-jpta.org